

40期定期総会議案書

議 事

第1部

議長選出、書記任命

第1号議案

39期の総括、40期の活動方針

会長

39期各部の活動報告、40期の活動方針

各専門部長

第2号議案 会則改正

事務局長

第3号議案 山行規定改正

事務局長

第4号議案 内規改正

事務局長

第5号議案 遭難対策基金規定改正

事務局長

第6号議案 個人情報保護指針

事務局長

第7号議案 39期会計報告、40期予算案

事務局長

第8号議案 役員選出

会長

第2部

役員投票結果の発表

会長

役員担当の発表

会長

新旧役員挨拶

委任状は添付資料最終頁をご利用ください。

2019年6月16日(日) 開場 12:30 開会 13:00 閉会 16:30

場所 葺合文化センター本館6F会議室(新神戸駅南徒歩5分)

兵庫県勤労者山岳連盟加盟

神戸中央山の会

KOBE CHUO ALPINE CLUB since1980.9.1.

(目次)

第1号議案	3
39期の総括	3
40期の活動方針	3
各専門部報告	4
山行部	4
ハイキング部	5
組織部	5
事務局	6
教育部	7
機関誌部	9
自然保護部	10
安全対策部 第39期活動報告	11
第2号議案	12
「会則」改正 資料	12
第3号議案	12
「山行規定」改正 資料	12
第4号議案	12
「内規」改正 資料	12
第5号議案	12
「遭難対策基金規定」改正 資料	12
第6号議案	12
「個人情報保護取り扱い指針」承認 資料	12
第7号議案	13
39期会計報告	13
40期予算案	14

第1号議案

39期の総括

平成から令和に元号が変わり、新しいメンバーを25名迎えました。世の中の変化に合わせて運営委員会では個人情報取り扱い規定、保険の自由化など協議しました。

7月豪雨、台風20号・21号によりトウエンティクロスが寸断され、あじさい広場横の斜面が崩れて危険な為クリーンハイクのコースを、高尾山を迂回する蛇谷に変更しました。その登山道も森守ボランティアメンバーが整備しました。

「例会数が多い」ことが神戸中央の特徴になってきています。教育部の講習や山行部の登山教室などを通して個人のステップアップと共に会のリーダーとしての意識が出来てきているのではないかと思います。みなと観光の撤退で少なくなっていたバスハイクも新しいバス会社をみつけ復活の兆しが見えてきています。

ホームページがリニューアルされ、ホームページからのビジター参加申し込みが多数ありました。きめ細かな対応で今期は入会者25名（女性が16名）となりましたが、退会者17名となり、来期の課題です。

事故0を目指しましたが、事故報告が骨折など3件とヒヤリハット報告もありました。前期に引き継ぎ「無届山行の禁止」を推進し、「毎日登山」「思い付き登山」を山行規定に明記するなど協議しました。また、緊急時対応のシミュレーションを実施し、緊急時救助体制、連絡網、救助要請会員などを決めました。9月からビジター参加者に賠償保険を掛けました。

「会則」「内規」「山行規定」「遭難対策規定」「決まりごと」を整理し、時間をかけて内容の見直しを行いました。

六甲全山縦走では受付会を引き受け、495名の申込みがありました。想定外の申込みの多さで、担当の方には大変な量の事務手続きをしていただきました。

40周年記念行事を企画し、着々と計画が進んでいます。記念誌発行、記念集会、8月には海外登山としてスイス、10月の国内記念登山は氷ノ山、記念Tシャツ“お先にどうぞ”も、ほぼ出来ました。

運営委員を初め、会運営に協力をしていただいた方々に感謝致します。

40期の活動方針

- 1、会の目的の一つである“よき仲間づくり”ができる組織づくり、行事を企画し、退会者が少なくなるよう努めます。
- 2、一人一人が充実した楽しい山行ができるよう、幅広い例会企画に取り組みます。
- 3、「安全・安心」の為の教育活動、講習会等を行い、「無届山行の禁止」を推進し、登山事故の防止に努めます。
- 4、私たちのホームグラウンドである六甲山の自然を守る活動を行います。
- 5、より多くの会員が参加できる40周年記念行事を行います。
- 6、会報、ホームページを通して、情報の共有を図ります。

各専門部報告

山行部

39期活動報告

四季のテント泊山行、縦走、岩、沢、登山教室等、活動方針に基づき以下のように活動しました。

1. 登山教室（前&後期）

受講生3名で昨年3月から今年の4月まで14か月間行い、怪我なく無事に修了しました。前期は座学、実技（ボックトレ、藪漕ぎ原登、岩、沢）を行い修了山行には北ア・西穂～ジャンダルム～奥穂高岳に行きました。後期は主に雪山向け訓練を行い、修了山行は4月に38期登山教室修了者（森本）がCLを担当し空木岳に登頂しました。

受講生のみならず、スタッフもレベルアップを図ることが出来ました。すずの子1月号で募集を行い5回目となる40期は受講生4名で登山教室を行います。登山教室の修了者は現在ハイキングリーダー担当で会の一役を担っております。

2. アルパインクライミングスクールの実施

登山教室後のステップアップとして企画し実技を10回行いました。

3. 県連活動への参加

岩セルフレスキュー、雪山搬出訓練、雪山登攀訓練等に参加しました。

4. 事故報告

3/21～24梅池（雪山&山スキー）例会で足の怪我（足首の肉離れ）がありました。

5. 例会、自主山行の企画と実施

岩登り、縦走、沢、雪山、バリエーションルート等を企画し、行いました。みんなが参加しやすい例会にすることを心がけ数多くの参加者がありました。

39期分5/12迄の集計		例会	参加人数	自主	参加人数	個人	参加人数
縦走	39期	22	145	16	62	25	25
	(38期)	17	129	14	38	5	5
岩登り	39期	39	261	26	114	4	4
	(38期)	44	304	13	53	5	6
沢登り	39期	3	31	3	12		
	(38期)	7	38				
雪山	39期	20	114	3	12	7	7
	(38期)	20	144	2	3	1	1
海外	39期					2	6
合計	39期	84	551	48	200	36	42
	38期	88	615	29	94	11	12

	総山行回数	総参加人数	
39期	168回	793人	
38期	128回	729人	
37期	124回	742人	

第40期活動方針

1. 無事故を最優先目標として活動します。
2. 縦走、岩登り、沢登り、雪山等の例会を企画します。

3. 登山教室を継続します。受講生には修了後に会のリーダーを担ってもらえるようなカリキュラムを加え、会に尽力できるメンバーに育てていくようにします。
4. 他の部と協力して各種講習会を行います。

ハイキング部

第39期活動報告

第39期は安全で楽しいハイキングを目指し、多彩な例会を実施することに努めました。

1. ハイキング部会を3か月おきに年4回開催しました（6月、9月、12月、3月）。毎回多くの会員に出席していただき、向こう3か月間のハイキング例会を企画しました。
2. 例会の企画回数は118回でしたが雨天等により中止になったものもあり、うち85回実施することができました。実施例会の山域は、六甲山系36回、その他の兵庫県内21回、県外28回でした。泊り例会は6回でした。
3. ハイキングリーダーには、ステップアップ講座（教育部）修了生や山行部で活動している会員、さらに会員歴の長いベテラン会員にも積極的に担当していただくようお願いしました。
4. 会員が、県連主催のハイキング講座に積極的に参加できるよう奨励しました。

例会回数と参加人数

期別	例会回数	参加会員数	ビジター	合計	備考
第39期（2018.5～2019.4）	85	773	102	875	他に中止33件
第38期（2017.5～2018.4）	118	1,079	89	1,168	他に中止29件
第37期（2016.5～2017.4）	86	1,050	79	1,129	

（注）教育部、山行部、組織部、クリーンハイク、六甲縦走を含まない。

第40期活動方針

1. 多様な例会を企画し、誰もが参加しやすい例会づくりに努めます。
2. 会員各層にハイキング例会を担当していただくようお願いしていきます。
3. 教育部、山行部、組織部と協力して各種講座の実施に参画します。
4. 県連主催の各種講座に多くの会員が参加するよう働きかけます。

組織部

39期活動報告

1. 会員数は134名から142名。入会者・退会者共に多く目標の150名に至らず。
2. 薪集め、納山際、新入会員歓迎会を実施し、会員親睦を図った。
3. ビジターを対象とした一日登山教室を計画し多数の参加申込を得たが、雨天で中止。
4. ご無沙汰会員さんにメールと電話のお誘いを試みた。
5. 納山祭でフリーマーケットを実践してみた。
6. ビジター参加を目指した例会、コラボを含め組織部として8例会を実施した。
（下記表）

日 時	内 容	参加者	備 考
10月20日	市ヶ原でヤマメシハイク	14名	ビジター1名
10月28日	瑞宝寺谷西尾根	20名	ビジター4名
11月3日	滋賀 金勝アルプス	24名	ビジター9名
11月7日	六甲修法ヶ原	15名	ビジター3名
12月15日	薪集、買出	10名	順調に終了
12月16日	納 山 祭	62名	盛大に実施 昨年より参加増
3月9日	市ヶ原で鍋ハイク	13名	ビジターなし
4月7日	新入会員歓迎会	53名	新会員15名 賑やかに実施
4月14日	一日登山教室	雨天中止	ビジター11名 新会員5名
4月22日	六甲山～有馬温泉	24名	ビジター4名
5月11日	再度山荘で スペアリブランチ	10名	ビジター2名
5月19日	六甲ガーデンテラス	14名	ビジター5名

39期会員推移

入会者 25名	祝 師子	藤本 尚也	祭 錦龍	齋喜 理恵	藤戸 里香	中津 恵美子
	丸山 俊二	宮本 和美	中村 充代	坂本千代子	道具由美子	葛城 七美
	岡田 直子	田崎幸二郎	長谷川豊美	松原 圭介	三浦 寛治	公 丕岩
	浜崎 耀子	都司 元明	三木 羊子	三木真理子	若林 りえ	大槻 将司
	原田 雅司					
退会者 17名	手賀 英恵	魚谷 尚子	脇 サト	橋本三代子	森下 正規	田畑 都子
	藤本 尚也	長谷川英子	佐々木紫乃	別所 朝子	森田 操	山野 雅弘
	西馬 早苗	貝塚 裕子	別所 友喜	藤本 明夫	生田 哲朗	

第40期活動方針

1. 会員数150名を目標に会員数の拡大を図る。
2. 納山祭、新入会員歓迎会及び会員親睦目的の例会を実施する。
3. 入会促進を目指し、ビジター参加型例会等を企画し、実施する。
4. 40周年記念式典への協力。
5. 退会者を減らす在会員向けへの手段の検討をする。

事務局

39期活動報告

「安心、安全」登山の推進のために事務局としてできることに取り組む

1. 「運営委員会」月一回の議事とりまとめと進行を行う 7月より
 ビジター保険加入を試行する 9月より > 来期は「団体保険」だけの適応
 「毎日登山」、「思いつき登山」の届け出ルールを決める 8月
 計画中止連絡の徹底のため「計画書」フォーム改定 11月
 緊急時対応検証を兼ねて机上救命シミュレーション実施 11月

- 緊急時救助体制連絡網の改訂 11月
- 「個人情報保護」と会員データ更新を協議 9月、1月、3月、4月
- 「保険自由化」協議を行う 10月
- 自動車保険証書コピー提出を協議 12月
- 会則以下ルール改正協議 3月、4月
- 2, 会計、保険業務
 - 月例収支報告、会計監査、会費納入、労山基金加入手続き
- 3, 新入会員研修を実施 7/1 1/6 「入会のしおり」を改定
- 4, 全体集会 2/3 主に以下の説明を行う
 - 個人カードの提出と個人情報保護指針実施
 - 保険自由化
 - ホームページ改訂
 - Tシャツデザインの投票
- 5, 40周年記念事業
 - Tシャツデザイン選定と作成手配 3月
- 6, 「無線部」としてクラブコールサイン申請 4月
- 7, 専門部会の調整
 - 教育部、組織部、機関誌部、山行部、自然保護部の会合 参加
- 8, 県連理事会、県連阪神地区交流会議 参加
- 9, Webフォーム入力による情報共有
 - 紙ベースの「入会申込み」は無くなり、Webフォーム利用に移行
 - ビジター例会参加、登山教室、登山教室、六甲全縦も外部フォーム利用
- 10, ビジター例会参加申込み者数(複数申込みはカウントしていません)
 - 6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月、4月、5月
 - 11 6 3 13 22 10 12 33 18 16 11 5 159名
- 11, 会員情報の更新に伴う業務として
 - 会員台帳、クリーンハイク名簿、担当班分け表、印刷ラベル、宛名シール更新

40期活動方針

- 1, 引き続き「会方針」の実現のために課題解決に取り組む
 - 保険自由化、CL用会員データベースの利用、自動車保険の開示
- 2, 情報公開を進め、透明性のある会運営を心がける
 - 適正財政運用と情報開示
- 3, 40周年事業の推進

教育部

第39期活動報告

各講習会を行いました。

講座	月/日	場所		内容	受講人数
夏山登山教室	6/6	事務所	座学	夏山の心得・装備	会員6名、V3名
	6/20			地図・食料	会員6名、V1名
	7/1			歩行・応急手当・天気	会員6名、V1名

	6/10	六甲山頂	実技	交流ハイキング	会員5名、V2名
	6/24	有馬三山		歩荷トレ	会員5名、V2名
	7/1	行者尾根		歩荷トレ	会員5名、V3名
	7/14	黒岩尾根		歩荷トレ	会員5名、V2名
	7/22	地獄谷		岩場歩き	会員5名、V2名
	8/3-8/5	八ヶ岳赤岳		修了山行	会員5名、V1名
1日登山教室	10/14	芦屋	実技	食料・装備・歩き方等	会員9名、V14名
雪山ハイキング講座	12/12	事務所	座学	雪山の心得・装備・天気	17名
	12/24	蓬莱挾	実技	アイゼントレ	7名
	1/20	三峰山		雨天中止	—
	2/2	綿向山			11名
	2/16-17	氷ノ山		修了山行	8名
ステップアップ講座	4/4	事務所	座学	例会の立て方・応急手当	9名
	4/6	大岩岳	実技	読図	10名
	4/21	六甲山		ロープワーク	5名
	6/30	リトル比良		修了山行	5名（予定）

1. 年間を通し各講座にて会員のレベルアップ向上に努めました。
2. 夏山登山教室は修了山行の参加者が少なく、手配していたバスをキャンセルしマイカーに切り替えました。
3. 10月14日開催の1日登山教室では14名のビジター参加があり、大いに賑わいました。
4. 雪山ハイキング講座では実技が1回中止となりましたが、修了山行の氷ノ山では全員が無事三の丸まで登頂する事が出来ました。
5. 教育部会を2回開催し、以下事項を決定しました。
 - ① 今後も県連の各種講座を活用し、受講後に神戸中央で講師をしていただいた方には運営委員会で承認の上、県連講座の受講費を補填する
 - ② 夏山登山教室は会を挙げてのイベントと位置づけ、会員全体に積極的な参加をお願いします
 - ③ 夏山登山教室、雪山ハイキング講座、ステップアップ講座は新入会員の必須受講講座とする
 - ④ ハイキングLD研修（ロープワーク講習）を土曜、または日曜に実施し、ハイキングLDのレベルアップを図る
 - ⑤ 2019年11月～2020年3月にステップアップ講座の内容見直しを行う
6. 教育部主体の1日登山教室は夏山登山教室と内容が重複しているため廃止。今後は組織部主体の年1回（原則4月実施）のみとする。

第40期活動方針

1. ハイキング部、山行部、組織部と協力し、会員の登山技術向上、リーダー育成に努

- めます。
2. 県連開催の講座に参加し、レベルの向上に努めます。
 3. ステップアップ講座の内容見直しと講座のレベルアップを実施します

機関誌部

第39期活動報告

① 機関誌部 機関誌部長 逢坂亜紀、副部長 西田有希
久貝壽祈、小嶋美子、上田清人、源田定之、嵯峨加津子、北島哲一、奥村奈美、居合幸恵、大石恵理子、藤戸里香 12名

② 編集クール

39期実績	2018年			2019年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
編集	西田	魚谷	小嶋	久貝
例会案内	手賀	逢坂	上田	奥村
印刷場所予約	嵯峨	嵯峨	嵯峨	嵯峨

40期予定	2019年			2020年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
編集	西田	逢坂	小嶋	久貝
例会案内	逢坂	藤戸	大石(恵)	居合
印刷場所予約	嵯峨	嵯峨	嵯峨	嵯峨

HP担当変更：正：源田、副：西田 すずの子監修：北島

③ すずの子ダウンロード者

2019年5月現在94名（会員の65%）になりました。（2018年5月67名、47.8%）

④ HP活性化委員会

3月より、兵庫県立神戸生活創造センターに集まって、スマホ・iPad・PCでネットに接続して、HPへの記事投稿方法等をメンバー10名で勉強しました。（3/20、4/17、5/22の3回開催）

⑤ 機関誌印刷

- 1, 印刷配達漏れ対策として「チェックシート」「印刷マニュアル」を作成
- 2, ダウンロードキャンペーンの実施と決まりごとの改正
- 3, 印刷用紙購入代金の軽減のため、箱買いを推進

⑥ ホームページ改正

- 1, レンタルサーバーを契約し、広告表示のないサイトデザイン、スマホ最適化に
- 2, フォーム、掲示板も含めSSL対応とし機密保持
- 3, アクセス数アップのためにSEO対策を行う
改正後のユーザー2528、アクセス28262、モバイルアクセス54.6% (2019.5.15.)
- 4, ユーザー登録制にし、セキュリティ向上を図るとともに情報開示を進める

第40期活動方針

40周年記念誌の制作（2020年6月発行）

すずの子を活用した情報発信

HP活性化による会員拡大

自然保護部

39期活動報告

- 兵庫の山からゴミを一掃する運動
クリーンハイクを毎月(8月を除く)実施
参加者数とゴミ収集量

	参加人数			ゴミ収集量 (kg)
	会員	ビジター	合計	
37期	335	20	355	50
38期	371	29	400	70
39期	431	22	453	56

豪雨の影響でアジサイ広場下の登山道が崩落し、通行が危険な状況になった為、9月、10月は、通常ルートと異なるルートで実施し、11月より、森守ボランティアで調査、整備し、神戸市森林整備事務所にて迂回路として認定された蛇ヶ谷ルートにて実施した。参加会員数の増加は喜ばしい。

- プルトップ収集(朝日新聞専売所に手渡し済)

37期	21 kg
38期	11 kg
39期	13 kg

※ドラム缶一杯300kgで車椅子1台

- 森守ボランティア活動

7月西日本に記録的な大雨で六甲山系が甚大な被害を受けました、中でもトエンティクロス山の山腹崩壊、土砂災害が発生し、飛び石、丸太橋などが流されて、河川が増水、氾濫し登山道はズタズタになりましたが、森守ボランティアがすぐに立ち上がり、復旧作業を行いました。

この1年間で46名の会員の方が延べ350回森守作業に参加しています。また、これまでの多くの方のご協力で、神戸市より感謝状を頂き、あじさい広場に中央山の会の看板を設置することができました。

40期活動方針

- 兵庫の山からゴミを一掃する運動(クリーンハイク)を継続活動します。
- プルトップ収集を継続実施します。
- 森守ボランティア活動や自然保護運動に取り組めます。

安全対策部

第39期活動報告

1. ワンポイントレッスンは、ハイキング部に協力して頂き実施する事が出来ました。
2. 各部との連携に関しては、夏季の登山教室の座学一回を担当しました。
3. 当会、県連のヒヤリハット情報を運営委員に配信しました。
4. 全体集会で事故防止の観点から登山届を必ず出すこと、救助に役立つ観点から計画書の各項目についての理解の大切さ、ココヘリについて説明しました。
5. 県連の安全対策関係行事(山での応急手当講習会・冬、春、夏山連絡会・ビバーク訓練・他)を案内し参加しました。
6. 当会員が遭難した場合の捜索シミュレーションを行い、問題点等を洗い出し確認する事が出来ました。
7. 芦瀬川遭難事故の捜索活動に協力しました。
8. 今期、事故報告は3件あり、2名が排骨骨折、1名が肉離れ。

第40期活動方針

1. 各部との連携。
2. 絶対に事故を起こしてはいけないという観点から、安全登山に対する意識向上を全会員の協力のもと推進していきます。
3. 県連の安全対策行事を案内し参加を促すと同時に、そこで得た知識を共有する場を設けます。
4. 引き続き捜索シミュレーションを行い、捜索活動マニュアルを改良していきます。

第2号議案

「会則」改正 資料

はじめに、ルール改正の議案について運営委員会で協議しました。全般に亘り

- (1) 誤字脱字、表記方法、表現方法の変更
- (2) 会則、内規、各種規定等の重複内容の整理、統合、再分類

を整えました。会則については

- (1) 運営委員会の権限を明記
- (2) 内規、各規定の改廃権限を総会に統一とする旨改正

を行っています。

* 「総会資料」各規程下線部が改正箇所

第3号議案

「山行規定」改正 資料

以下の改正を行っています。

- (1) 山行の区分を明記
- (2) 計画書の申請手順を明記
- (3) 留守宅の責務を規定
- (4) 労山基金への加入必須を他の山岳保険でも可に変更

第4号議案

「内規」改正 資料

以下の改正を行っています。

- (1) 森守ボランティアへのガソリン代補助、参加者への500円交付の記載を削除

第5号議案

「遭難対策基金規定」改正 資料

以下の改正を行っています。

- (1) 運用権限を三役協議から運営委員会に変更
- (2) 融資条件を明確化

第6号議案

「個人情報保護取り扱い指針」承認 資料

「改正個人情報保護法」（2017年5月）の施行を受けて、「個人情報取り扱い指針」を新たに定める。会員の個人情報の取り扱いは、これに基づいて行う。

遵守徹底の程よろしくお願いします。

神戸中央山の会 40期議案書

第7号議案

39期会計報告

別紙配布

40期予算案

本予算

40期 2019.5.21.~2020.5.20.

収 入	予算	摘要
会費収入	1,700,000	入会金、月会費
活動収入	200,000	例会参加費、六甲全縦受付
その他収入	5,000	テキスト、用具使用、寄付
預金利息	10	
助成金	133,000	森林整備事務所
前期繰越	32,951	
合 計	2,070,961	
支 出	予算	
連盟費	540,000	@300*150*12
家賃	516,000	
光熱費	19,000	
(固定費計)	1,075,000	
事務局費	120,000	ビジター保険見直し
機関誌部費	100,000	7,000- (印刷発送費) * 12ヶ月、サーバー6,600-
山行部費	130,000	テント、ザイル購入
ハイキング部費	50,000	デジタル無線購入
組織部費	70,000	
自然保護部費	20,000	
教育部費	50,000	テキスト作成、ハイキングLD研修品購入、講習補助等
安全対策部費	20,000	
森守支出金	133,000	
六甲全山縦走	60,000	
遭対特別積立金	36,000	@20*150*12
その他支出	2,000	
(変動費計)	791,000	
合計	1,866,000	
特別会計	150,000	41期事業準備金
次期繰越	54,961	
合 計	2,070,961	

40周年事業

40期 2019.5.21.~2020.5.20.

(収入)	予算	摘要
38期繰入	200,000	
39期繰入	300,000	
計	500,000	
(支出)		
記念誌	100,000	
国内山行	20,000	氷ノ山
海外山行	0	スイス
記念Tシャツ制作	100,000	
繰越	280,000	記念誌印刷、記念集会
計	500,000	